

萩港

船橋に備え置いてください！

の地域的参考情報

1 萩港の気象・海象の特性

- ・ 冬季は、北西の風の影響を受けやすい。
- ・ 台風が萩港の東を通過する場合には、北東～南西よりの風、西を通過するときは、南よりの風が連吹するので注意が必要

2 台風に関する勧告基準

態勢	基準	時期	措置
勧告 第1態勢 港則法第39条第4項	台風が気象庁の発表する予想針路を進んだ場合、 強風域 が萩港に及ぶことが明らかである場合	原則として台風の強風域が萩港に及ぶ3時間以上前まで	① 岸壁係留中の船舶等港内在泊船は、十分な荒天準備を行い、状況に応じて直ちに運航できるよう準備すること。 ② 海上における工事作業現場等は、物件が流出しないように十分な措置を講じること。 ③ 危険物荷役は、状況に応じ中止する等万全の措置を講じること。 ④ 500トン以上の船舶は、国際VHF (ch16) を常時聴取する等、当庁との連絡手段を確保すること。 ⑤ 500トン以上の船舶は、当直員 (船橋当直・無線当直等) を配置すること。 ⑥ AIS搭載船舶はAISを常時作動すること。
勧告 第2態勢 港則法第39条第4項	台風が気象庁の発表する予想進路を進んだ場合、 暴風域 が萩港に及ぶことが明らかである場合	暴風域が萩港に到達する6時間以上前を基準とし、次の点を考慮する ・ 平均風速15m/sとなる前に避難が完了すること ・ 昼間に非難等の措置が完了すること	① 港内在泊船舶 (総トン数500トン以上の船舶は除く) は、船長判断により島陰又は船溜まり等のより安全な場所に避難すること。 ② 漁船等小型船舶は、陸揚げ又は係留索の増強等万全の措置を講じること。 ③ 港内に着岸中の総トン数500トン以上の船舶は、安全な海域へ避難するとともに、次の措置を講ずること。 ・ 国際VHF (ch16) を常時聴取する等、当庁との連絡手段を確保すること。 ・ 当直員 (船橋当直・無線当直等) を配置すること。 ・ AIS搭載船舶はAISを常時作動すること。

3 付近海域の状況

小畑浦、中小畑浦及び菊ヶ浜前面海域の萩港内は水深が15～21m、底質は泥又は細砂であるが、陸岸に接近すると急激に浅くなる。

緊急連絡先

萩海上保安署

TEL : 0838 - 22 - 4999



各海域 (港) 最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。